



六郷中だより

六郷中学校だより 第6号

令和 4年10月17日

発行・文責：校長 深澤裕治

<六中HP>



全国学力・学習状況調査の結果と今後の対策

全国の中学3年生を対象に実施しました今年度の「全国学力・学習状況調査」の本校の調査結果の概要がまとまりましたので、今後の対策と併せてご報告いたします。

1. 調査の目的

全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、その成果と課題を明らかにするとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2. 実施生徒

国・公・私立学校の中学校3年生の全生徒（9,762校、928,509人）

3. 実施日

令和4年4月19日（火）

4. 調査内容

①教科に関する調査（国語・数学・理科の3教科の学力調査）

- ・各教科において、身につけておくべき内容や実生活において活用できることが望ましい知識、技能
- ・知識、技能を実生活に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価、改善する力

②質問紙調査（学習状況調査）

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する質問

5. 本校の教科に関する調査（学力調査）結果の概要と今後の対策について

①各教科の平均正答率と全国平均（公立）との比較

	国語	数学	理科
全国平均との比較	やや上回る	同等	同等

※全国平均との比較は、次の基準によります。

かなり上回る	10ポイント以上、上回っている場合
やや上回る	5ポイント以上～10ポイント未満、上回っている場合
同等	±5ポイント未満の中に入っている場合
やや下回る	5ポイント以上～10ポイント未満、下回っている場合
かなり下回る	10ポイント以上、下回っている場合

②各教科の分析と今後の対策

【国語】

- ・全14問における国語の学習指導要領の内容ごとの正答率と全国平均（公立）との比較は
「言語の特徴や使い方に関する事項」…同等
「情報の扱い方に関する事項」…かなり上回る
「我が国の言語文化に関する事項」…やや上回る
「話すこと・聞くこと」…やや上回る
「書くこと」…かなり上回る
「読むこと」…やや上回る

といった結果となりました。

- ・出題の趣旨ごとに分析すると「表現の技法について理解する」「事象や行為、心情を表す語句について理解する」「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解する」について課題がみられました。今後はより充実した学習活動となるよう、指導の工夫を行っていきます。

【数学】

- ・全14問における数学の学習指導要領の領域ごとの正答率と全国平均（公立）との比較は
「数と式」…やや上回る
「図形」…やや上回る
「関数」…同等
「データの活用」…同等

といった結果となりました。

（裏面に続きます）

- ・出題の趣旨ごとに分析すると「目的に応じて式を変形し、その意味を読み取り、事柄が成り立つ理由を説明することができる」「結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる」「箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができる」「事柄を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる」「筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる」について課題がみられました。今後はより充実した学習活動となるよう、指導の工夫を行っていきます。

【理科】

- ・全21問における理科の学習指導要領の領域ごとの正答率と全国平均（公立）との比較
「エネルギー」を柱とする領域……………同等
「粒子」を柱とする領域……………やや上回る
「生命」を柱とする領域……………やや上回る
「地球」を柱とする領域……………同等

といった結果となりました。

- ・出題の趣旨ごとに分析すると「気圧の概念を空気の柱で説明する気圧に関する知識・技能」「物体に働く力を矢印で表す力のはたらきに関する知識・技能の活用」「課題について考察を行うためのグラフを作成する技能」「節足動物の分類の観点や基準に関する思考・判断・表現」について課題がみられました。今後はより充実した学習活動となるよう、指導の工夫を行っていきます。

6. 質問紙調査（学習状況調査）から明らかになった本校生徒の傾向について

①全国と比較して良かった（10ポイント以上、上回っている）質問項目

- ・自分にはよいところがあると思いますか。
- ・将来の夢や目標をもっていますか。
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- ・学校に行くのは楽しいと思いますか。
- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、どれくらいの時間、読書を読みますか。
- ・読書は好きですか。
- ・自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか。
- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。
- ・1, 2年生のときに受けた授業で、タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。
- ・授業中に自分で調べる場面で、タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。
- ・学級の生徒と意見交換をする場面で、タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。
- ・自分の考えをまとめ、発表する場面で、タブレットなどのICT機器をどの程度使っていますか。
- ・1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。
- ・学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていますか。
- ・総合的な学習の時間では、自分の課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。
- ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。

②全国と比較して課題のあった（5ポイント以上、下回っている）質問項目

- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、どれくらいの時間、勉強を読みますか。
- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、どれくらいの時間、勉強を読みますか。
- ・1, 2年生のときの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいましたか。

7. まとめ（今後に向けて）

教科（国語・数学・理科）に関する調査については、いずれも全国平均に比べ、同等以上結果となりました。また、質問紙調査（学習状況調査）においても、多くの生徒が自己肯定感をもって、学校生活を過ごしている結果となりました。

今後は、教科における課題と、質問紙調査で明らかになった「学校の授業時間以外の学習（家庭学習）」の課題の解決に向けて、生徒が考えたくなり、取り組みたくなる投げかけの言葉の「発問」を工夫するとともに、ICT機器の活用を推し進め、生徒の日常の学習活動が、主体的で対話的なものとなるよう授業改善に取り組み、さらには「夕学」として、日々の帰りの会において、一日の授業内容を振り返りながら家庭学習の計画を立案する活動を継続することで、生徒一人ひとりの家庭学習の意識や意欲を高め自主的で継続的な家庭学習となるよう、課題解決を行っていきます。

さらには明らかになった課題や生活状況の実態を踏まえ、今後の学習指導や生徒指導の改善につなげていきたいと考えております。今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。